

報告第 8 号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和 2 年 9 月 3 日提出

逗子市長 桐ヶ谷 寛

経 営 状 況

第29期事業年度 事業報告
自 平成31年 4月1日
至 令和 2年3月31日

第30期事業年度 事業計画
自 令和 2年 4月1日
至 令和 3年3月31日

株式会社 パブリックサービス
PUBLIC SERVICE CORPORATION

第 29 期 事業報告

(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで)

株式会社パブリックサービス
代表取締役 稲垣 正

I. 事業の概況

1. 事業の経過および成果

(1) 当事業年度の概要

第 29 期（平成 31 年度）に入るとすぐの 5 月に元号が平成から令和に変わりました。10 月からは消費税が軽減税率（8%）併用で 8%から 10%に増税され個人消費が減速しました。9 月、10 月には気候穏やかな逗子が強い台風 15 号、19 号に見舞われ市内数ヶ所で被害がありました。令和 2 年 1 月に新型コロナウイルスが中国で発生、瞬く間に世界中に広がり WHO はパンデミックを宣言しました。日本では感染拡大防止の観点から学校の臨時休校、人の集まる施設等が休館となり、その影響で当社が逗子市から受託している幾つかの業務が 2 月末から休止になり収入及び利益にマイナスの影響が出ております。業務の再開は来期になりますが時期は未定です。

【受託事業】

逗子市からの受託事業は年間を通じて順調に業務を遂行しました。

市の財政対策プログラムは継続中ですが、当期に登下校児童交通整理業務（小坪小及び久木小）が復活しました。福祉バス、公園管理、学校開放、自転車保管場所管理の各業務は前年度と同様の規模での運営となりました。

2 月末以降、新型コロナ拡大防止対策により高齢者センターが休館になり「福祉バス運行」が休止されました。また、市内小学校の臨時休校を受け「登下校児童交通整理業務」及び「学校開放業務」が同じく休止されました。

【指定管理事業】

逗子文化プラザ市民交流センターの第 1 期指定管理業務は平成 27 年 4 月から当社が運営しておりますが当期は 1 期目の最終年度でスタッフ一同、特に力を注いでまいりました。

2 期目（令和 2 年 4 月から 5 年間）の指定管理者入札の結果、幸いにも当社グループ「逗子文化プラザ市民交流センター・コンソーシアム」が指定管理者に選任されました。そして 2 期目が始まりますが、市民交流センターは新型コロナ拡大防止策による休館が続いています。

【自主事業】

「ホーム&ビジネス・サポート業務」は市内大型小売店等向けの人材派遣事業が好調で前年度を大幅に上回る実績をあげる事が出来ました。ガーデンケア（一般家庭の草刈り・樹木剪定）は厳しい天候の 1 年間でしたが故障者も出ず遂行できました。その他、民間の施設管理事業等は順調に推移しております。

(※) 11 ページに「事業一覧」を掲載しています。

【市民貢献事業】

当期に新規案件はありませんが、市内老人介護施設 2 か所に貸与している AI 介護ロボット・ペッパーの貢献事業は継続中です。(令和 2 年 10 月に終了予定)

(2) 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社の事業を円滑に遂行する上の車の両輪にあたるもので、全職場共通の重点項目として気を緩めることなく注力してまいりました。

① 安全第一の徹底

- ・安全管理に対する緩みはないか本社職員が各職場を不定期に訪問しています。
- ・年 3 回の主任会議及び毎月開催の衛生委員会を通じ安全衛生管理を行っています。
- ・社長並びに部長が各職場を巡回する安全パトロール（年 2 回実施）において指摘事項及び要改善事項を提示して PDCA を回しています。
- ・指差呼称は各職場で励行しております。

② 顧客サービス向上

- ・各施設の利用者である市民の皆様、市役所及び民間顧客に満足頂けるサービスを努めています。
- ・当期も新入社員等を対象にプロのコーチによる接客マナー研修を実施しました。

(3) 高齢者雇用について

① 再雇用制度

当社社員の勤労意欲は高く健康状態も良好であるとの判断のもと、総合的な社内審査を経たうえで合格者は再雇用年限を更に 1 年延長しました。

② 健康管理

- ・当社の社員は概ね健康ですが高齢ゆえに何割かは持病を持っているので、本社主導で健康管理活動を行っています。
- ・安全衛生引当金を用いインフルエンザ予防接種費用の補助を行った結果、社員の 90 名が接種を受けました。
- ・現在は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に厳重な注意を払い、「密閉」、「密集」、「密接」の三密の回避、マスク着用及び手指消毒を義務付けています。

③ 社員統計

当期末の社員総数は前年度末より 15 名増加の 130 名で、その内女性は 15 名です。全社の平均年齢は 68.0 歳でした。内訳は、「第一事業部」70.2 歳。「第二事業部（市民交流センター）」54.2 歳です。

(表 1) をご参照ください。

【表 1】

○雇用者統計：受託事業・指定管理・自主事業（ホーム&ビジネスの請負を除く）。

（単位：人）

事業年度（期末日）	社員 総数	内訳				備考
		60 歳以 上男性	60 歳以 上女性	60 歳未 満男性	60 歳未 満女性	
24 期（平成 27 年 3 月末）	109	100	7	0	2	（注）
25 期（平成 28 年 3 月末）	128	104	13	2	9	〃
26 期（平成 29 年 3 月末）	124	106	8	2	8	〃
27 期（平成 30 年 3 月末）	117	99	6	3	9	〃
28 期（平成 31 年 3 月末）	115	102	5	2	6	〃
29 期（令和 2 年 3 月末）	130	113	7	2	8	〃

（注）市民交流センターについては、採用時の年齢制限を設けておりません。

○登録者統計：ホーム&ビジネス請負業務。

（単位：人）

事業年度（期末日）	登録 者数	内訳				備考
		60 歳以 上男性	60 歳以 上女性	60 歳未 満男性	60 歳未 満女性	
28 期（平成 31 年 3 月末）	14	7	7	0	0	－
29 期（令和 2 年 3 月末）	6	1	5	0	0	

※60 歳以上男性の内 1 名が社員兼任、60 歳以上女性の 0 名が社員兼任。

※28 期に比べ 29 期の登録者人数が減少したのは社員への転換を進めた事によります。

（4） 損益の状況

第 29 期事業年度（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）。

① 概要 （表 2 を参照下さい）

- ・ 全社売上高は 2 億 743 万円で事業別では受託事業売上 1 億 125 万円。指定管理事業売上 5,636 万円。自主事業売上は好調で 4,980 万円でした。
- ・ 売上総利益は 1,962 万円。販売費及び一般管理費：1,934 万円。営業利益 27 万円でした。
当期は終盤に発生した新型コロナウイルスの影響で営業利益がマイナスに転ずる可能性もありましたが、最終的にプラスになりました。
- ・ 営業外収益は預金利息 2 千円、高齢者雇用開発助成金収入 190 万円、披露山自販機収入等 51 万円、安全衛生引当金戻入 35 万円の合計 277 万円でした。
- ・ 営業外費用は安全衛生引当金繰入 90 万円、安全衛生費用 35 万円及び披露山レストハウスの営業損失 4 万円。合計 129 万円でした。
※「安全衛生引当金繰入」90 万円は高齢者雇用開発助成金収入を原資にした引当金です。

- ・ 経常利益：175 万円でした。
- ・ 特別利益及び特別損失は「新事業開発準備金」及び「市民貢献準備金」から充当した費用及び準備金の取り崩し額です。
- ・ 法人税等を差し引いた後の当期純利益は 155 万円でした。

② 29 期実績と前年度（28 期）実績との比較 （表 2 を参照ください）

- ・ 当期の全社売上高は新型コロナウイルスの影響がありましたが、自主事業の牽引により前年度比 969 万円の増加の 2 億 743 万円でした。
- ・ 受託事業売上は福祉バス、登下校交通整理、学校開放の業務で新型コロナの影響がありましたが当期から復活した業務もあり前年度比 340 万円の増収の 1 億 125 万円でした。
- ・ 指定管理事業（市民交流センター）の売上は新型コロナの影響が大きく前年度比 233 万円減の 5,636 万円でした。
- ・ 自主事業はコロナの影響は比較的少なく人材派遣業業務の継続受注により前年度比 861 万円増加の 4,980 万円でした。
- ・ 売上総利益（粗利）は自主事業部門で増加したものの受託事業及び指定管理事業で新型コロナの影響により減益となり全社ベースで前年度より 34 万円減少の 1,962 万円でした。
- ・ 「販売費及び一般管理費」は経費節減に努め前年度より 25 万円少ない 1,934 万円でした。
- ・ 営業利益は前年度比 8 万円減少の 27 万円でした。
- ・ 営業外収益：当期は前年度に比べ 125 万円増加しました。増加の内訳は高齢者雇用開発助成金収入 100 万円、安全衛生引当の戻入額 35 万円。減少は披露山自動販売機収入等 10 万円でした。
- ・ 営業外費用：当期は前年度に比べ 81 万円増加しました。安全衛生引当金繰入額は 45 万円。安全衛生費用は 35 万円。披露山レストハウス損失等 1 万円でした。
- ・ 特別損益の部：当期は前年度に比べ 339 万円減少しました。内訳は「新事業開発準備金」が 79 万円減少、「市民貢献準備金」259 万円減少。
- ・ 当期純利益は前年度比 35 万円増加の 155 万円でした。

【表 2】損益計算書（要約）

（税抜き 単位：千円）

	29 期実績	29 期予算	28 期実績
（売上高）			
・ 受託事業	(101, 258)	(101, 867)	(97, 851)
・ 指定管理事業	(56, 366)	(57, 873)	(58, 696)
・ 自主事業	(49, 806)	(45, 734)	(41, 191)
売上高合計	207, 431	205, 474	197, 738
売上原価	187, 809	185, 120	177, 777
売上総利益（粗利益）	19, 622	20, 354	19, 961
販売費及び一般管理費	19, 343	20, 092	19, 601
営業利益	278	262	360
営業外収益	2, 774	1, 602	1, 520
営業外費用	1, 299	0	481
経常利益	1, 753	1, 864	1, 398
特別利益	1, 945	10, 100	5, 337
特別損失	1, 945	10, 100	5, 337
税引前当期利益	1, 753	1, 864	1, 398
法人税等	200	200	200
当期純利益	1, 553	1, 664	1, 198

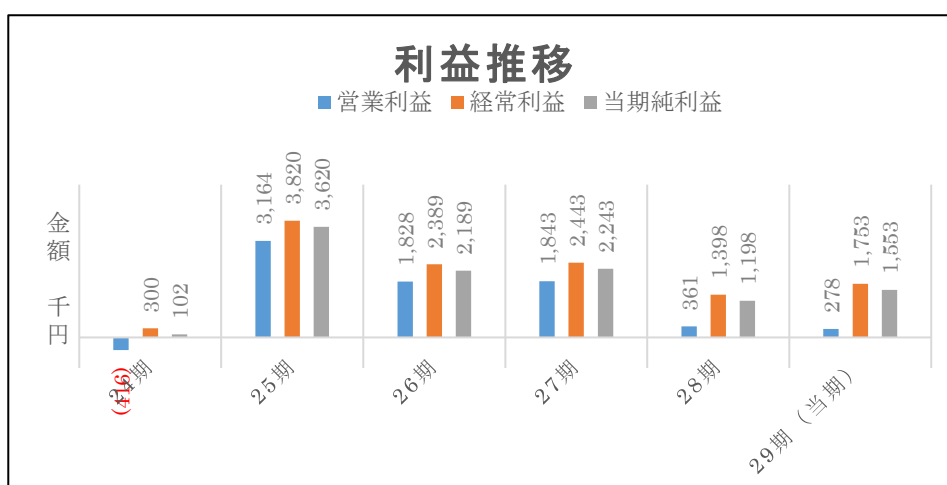
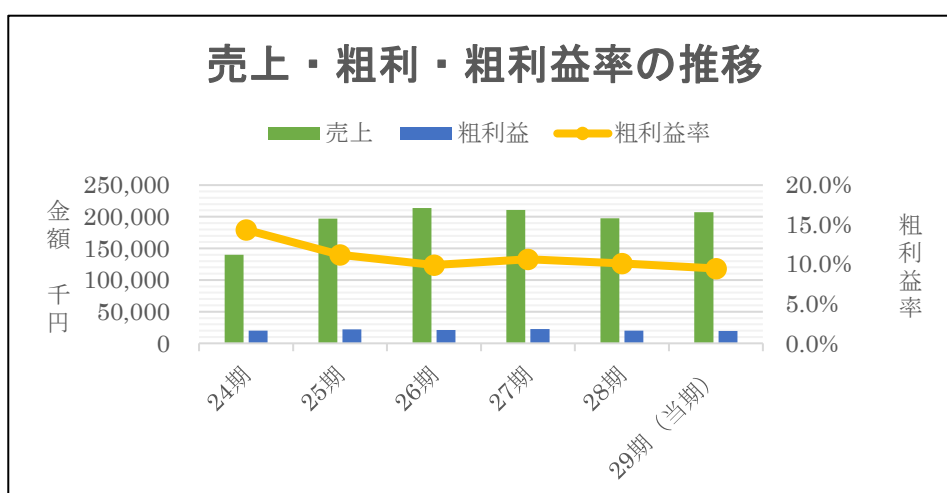
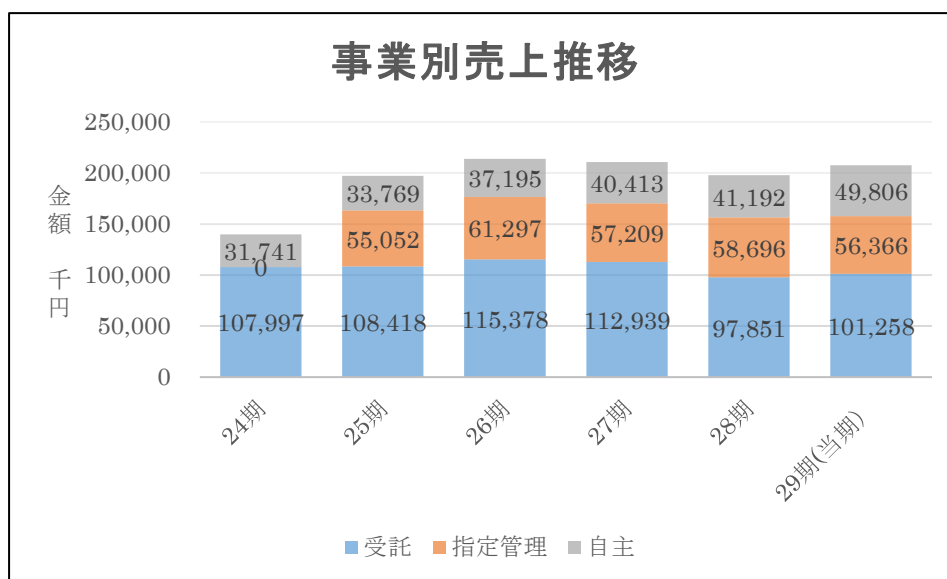
（注） （ ）は売上高の内訳です。

【表 3】 第 29 期 事業実績に関する事項

事業		売上高（千円）	利用者数等	備考
受託事業（年間契約）				
	福祉バス運行管理	17,125	35,203 人	往復延べ人数
	街区公園・ハイキングコース維持管理	7,909	－	75 公園、4 ハイキングコース
	広報板掲示等業務	1,414	62 ヶ所	
	清水橋 南・北駐輪駐車場管理	35,718	自動車 26,172 台	減少
			定期自転車 1,924 台	〃
			定期バイク 3,958 台	〃
			一時自転車 48,962 台	〃
			一時バイク 45,135 台	〃
	JR 逗子駅 西・東駐輪場管理	15,647	定期自転車 4,061 台	増加
			定期バイク 2,336 台	〃
			一時自転車 62,843 台	減少
			一時バイク 21,009 台	〃
	高齢者センター他グリーンメンテナンス	205	－	春・秋各 1 回
	小坪保育園樹木剪定	57	－	園内管理
	自転車等保管場所	2,147	自転車 437 台	減少
			バイク 36 台	増加
	登下校児童交通整理	995		小坪小、久木小
	学校施設開放管理（実績精算）	3,009	18,454 人	久木小・沼間小・池子小
	容ブラ処理業務（一部実績精算）	16,721	ペール 816 トン	前年度と同じ
	屋外広告物対策事業	306	－	違反広告監視
	【計】	101,258		
指定管理者事業				
	会議室・市民交流スペース等利用者数	56,366	114,199 人	前年度比減少
	プール利用者数		50,629 人	前年度比 減少
	【計】	56,366		
自主事業				
	市役所地下駐車場事業（7 月で終了）	1,193	2,050 台（有料台数）	土日・祝日・年末年始営業
	ガーデンケア	25,350	679 件	微増 草刈り・庭木剪定
	民間施設管理・清掃・当直	9,379	－	市内医療施設 2 ヶ所
	ホーム&ビジネス・サポート	13,647	－	請負、派遣
	その他	232	－	チラシ掲示ほか
	【計】	49,806		
（注）	披露山レストハウス売店	241	売上高	土日祝祭日年末年始営業。

（注）披露山レストハウス売店は共同事業であり売上高は損益計算書には反映しておりません。持分相当の出資金（B/S）と損益（P/L）が当社財務諸表に反映しております。

(5) 事業損益の推移（6期分）



(6) 財政の状況

令和 2 年 3 月 31 日の貸借対照表。

【表 4】貸借対照表(要約)

(単位：千円)

		当期（29 期）	28 期
		令和 2 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日
資 産	現預金	95,446	94,362
	その他流動資産	12,392	12,082
	固定資産	3,560	3,963
	合計	111,399	110,408
負 債 資 本	流動負債	25,023	23,640
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	新事業開発準備金	15,565	15,672
	市民貢献準備金	12,422	14,260
	その他利益剰余金	44,988	43,434
	合計	111,399	110,408

(7) 新事業開発費の使用実績

「新事業開発準備金」は新規事業の開発を目的とする基金で利益剰余金を原資としています。
第 21 期株主総会（平成 24 年 6 月）で株主の了承を戴きました。

当期（第 29 期）の使用内訳

項目	時期	当期金額	備考
ホーム&ビジネス・サポート	平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月	107 千円	新規事業販売促進（チラシ広告）
合計	—	107 千円	—

(8) 市民貢献事業の使用実績

「市民貢献準備金」は逗子市民への貢献を目的とする基金で利益剰余金を原資としています。
第 25 期株主総会（平成 28 年 6 月）で株主の了承を戴きました。

当期（第 29 期）の使用内訳

寄贈先	寄贈した 物品・サービス	寄贈 時期	当期金額	備考
グリーンハウス逗子・逗子清寿苑	人工知能ロボット・ペッパー	平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月	1,838 千円	2 台 3 年間で約 600 万円
合計	—	—	1,838 千円	—

2. 業務運営事項

- ・平成31年4月 逗子市等との間で30年度受託等の契約を締結
- ・令和元年5月 第28期 監査役監査の実施
- ・令和元年6月19日 第28期定時株主総会開催
- ・令和元年7月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・令和元年6月以降 第29期取締役会を6回開催しました。

3. 会社が対処すべき課題

(1) 安全衛生の強化

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。新型コロナウイルスの長期化に備え、衛生管理の基本を徹底します。

(2) 顧客サービスの品質向上

マナー研修及び技能研修の実施をおこない各職場のサービス品質を高めてまいります。

(3) 市民貢献事業

当社の利益剰余金を原資に行う事業ですが逗子市民に対し効果的な貢献を致します。

(4) 新規事業の開拓

- ・「ホーム&ビジネス・サポート事業」を幅広く展開してまいります。法人向け人材派遣の顧客拡大を目指します。
- ・空き家問題解決の一助となるように「空き家点検サービス」を逗子市と連携して進めます。

(5) 雇用の促進

ホーム&ビジネスを拡大して雇用の促進を図ります。当社は女性の就業者が少ないとの声がありますので雇用及び活躍を推進してまいります。

Ⅱ. 会社の概況

1. 会社概要（令和2年3月31日現在）

設立年月日	平成3年（1991年）8月26日
払込資本金	1,040万円
主な事業内容	公共施設管理業務等
社員の状況	130名（うち女性15名） 平均年齢68歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子4丁目948番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子5丁目4番33号 逗子会館2階
事業年度	4月1日から翌年の3月31日までの1年

2. 株式の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208 株 （1 株額面 5 万円）

(2) 株主および出資状況

株 主 名	持株数	出資比率
逗子市	106 株	50.96%
株式会社横浜銀行	10 株	4.81%
かながわ信用金庫	10 株	4.81%
湘南信用金庫	10 株	4.81%
逗子市商工会	5 株	2.40%
社会福祉法人地域福祉協会	1 株	0.48%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1 株	0.48%
市民株主 48 名	63 株	30.29%
その他	2 株	0.96%

3. 取締役および監査役（令和2年3月31日現在）

職 名 ・ 氏 名	主 な 役 職 名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 安達俊雄	公益社団法人 鎌倉法人会相談役
取締役 若菜敏孝	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
取締役 塚越 暁	前逗子市教育委員、HARAPPA（株）代表取締役
監査役 岡本 一朗	株式会社横浜銀行三崎支店長（前逗子支店長）

Ⅲ. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当ありません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス

当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。

2. コンプライアンス

法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。

3. リスク管理

万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

4. 内部統制

内部統制が機能する組織及び業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

受託事業 委託者：逗子市
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行
市内街区公園（75ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理
広報板掲示等業務
駐輪場および駐車場（清水橋南駐輪駐車場、同北駐輪場、JR 逗子駅西駐輪場、同東駐輪場）4ヶ所の管理運営
高齢者センター・グリーンメンテナンス
小坪保育園樹木剪定 園内管理
自転車等保管場所管理
登下校児童交通整理配置
放課後・土曜日などの学校施設開放管理業務（久木小、沼間小、池子小）
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務
屋外広告物対策事業

指定管理 委託者：逗子市
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業

自主事業 委託者：民間
ガーデンケア（市内ご家庭やマンションのお庭の手入れ）
逗葉地域医療センター様の施設管理・清掃・当直業務
逗子桜山クリニック様の当直業務
逗子清寿苑様の庭園管理
市役所地下駐車場を営業（土・日・祝日と年末年始）令和元年7月終了。
ホーム&ビジネス・サポート事業 （人材派遣）大型小売店、私立学校、高齢者介護施設 ほか （請負）個人宅・シェアハウス・民泊施設の掃除、片付けなど

（注）事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示です。
・金額は表示単位未満の端数を切り捨てて、またパーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して、表示してあります。
・（表4・5・6）の金額表示は表示単位未満を四捨五入してあります。

第29期貸借対照表
(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	593	未払費用	16,511
預金	94,853	未払法人税等	200
売掛金	10,916	未払消費税等	6,579
商品	96	預り金	723
立替金	100	仮受金	13
仮払金	465	安全衛生引当金	995
前払費用	491	流動負債合計	25,023
未収入金	324		
流動資産合計	107,839	II 固定負債	
		修繕引当金	3,000
II 固定資産		固定負債合計	3,000
(有形固定資産)		負債合計	28,023
建物	0	(純資産の部)	
構築物	7	I 株主資本	
車両運搬具	2,994	資本金	10,400
工具器具備品	111	利益剰余金	
		利益準備金	120
(投資その他の資産)		その他利益剰余金	72,855
披露山売店出資額	446	別途積立金	13,000
固定資産合計	3,560	新事業開発準備金	15,565
		市民貢献準備金	12,422
		繰越利益剰余金	31,868
		純資産合計	83,375
資産合計	111,399	負債・純資産合計	111,399

(注) 有形固定資産の減価償却累計額：29,394千円

第29期損益計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	101,258	
指定管理事業	56,366	
自主事業	49,806	
売上高合計		207,431
売上原価		187,809
売上総利益		19,622
販売費及び一般管理費		19,343
営業利益		278
営業外収益		
受取利息	2	
特定求職者雇用開発助成金	1,900	
安全衛生引当金戻入益	354	
その他収入	518	
営業外収益合計		2,774
営業外費用		
安全衛生費用	354	
安全衛生引当金繰入	900	
その他損失	45	
営業外費用合計		1,299
経常利益		1,753
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	107	
市民貢献準備金取崩益	1,838	
特別利益合計		1,945
特別損失		
新事業開発費償却	107	
市民貢献準備金償却	1,838	
特別損失合計		1,945
税引前当期純利益		1,753
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		1,553

第29期株主資本等変動計算書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

	株主資本							株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金					利益剰余金 合計		
		利益準備金	その他利益剰余金						
			別途積立金	新事業開発 準備金	市民貢献準 備金	繰越利益剰 余金			
当期首残高	10,400	120	13,000	15,672	14,260	30,314	73,367	83,767	83,767
当期中の変動額									
新事業開発準備金取崩益				△ 107			△ 107	△ 107	△ 107
市民貢献準備金取崩益					△ 1,838		△ 1,838	△ 1,838	△ 1,838
当期純利益						1,553	1,553	1,553	1,553
当期変動額合計	0	0	0	△ 107	△ 1,838	1,553	△ 391	△ 391	△ 391
当期末残高	10,400	120	13,000	15,565	12,422	31,868	72,975	83,375	83,375

(附属明細書)

財 産 目 録
(令和2年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	593	現金
預金	94,853	普通預金。定期預金。
売掛金	10,916	逗子市受託分、逗葉地域医療センター、ガーデンケア、逗子桜山クリニックその他
商品	96	市民交流センタープール販売用商品
立替金	100	社員立替金
仮払金	465	駐輪・駐車場ほか釣り銭
前払費用	491	賠償責任保険前払分、自動車リサイクル預託金
未収入金	324	市民交流センター使用料
建物	0	学校開放業務員詰所2棟(2円)、逗子ビジネスオフィス改装工事(2円)
構築物	7	給排水設備
車両運搬具	2,994	バス3台、軽自動車8台、バイク1台
工具器具備品	111	物置2棟、プールロッカー、池子事務所エアコン2機。
披露山売店出資金	446	共同事業出資分
合 計	111,399	-

負 債 の 明 細	金 額	説 明
未払費用	16,511	従業員給与(3月分)、仕入債務
未払法人税等	200	逗子市、神奈川県
未払消費税等	6,579	鎌倉税務署
預り金	723	市民交流センター利用料、所得税等、駐輪場ICカードほか
仮受金	13	自販機電気代
安全衛生引当金	995	安全衛生に関する強化費用
修繕引当金	3,000	-
合計	28,023	-

注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

(1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

(1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

(1-4) 計算書類作成のための重要な事項

① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

(2) 貸借対照表に関する注記

(2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

(3-1) 発行済み株式の数

普通株式

前期末株式数	208株
--------	------

当期末株式数	208株
--------	------

監 査 報 告 書

令和2年5月8日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 岡本 一朗 ⑩

私、監査役は平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第29期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

監査役の監査報告書 写

第 30 期 事業計画

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)

(1) 事業全般

新型コロナウイルス禍は世界中に広がっており日本での感染拡大は小康状態にありますがこのパンデミックが収束するまで 1~2 年はかかると言われております。
当社は事業を安全に遂行する上で感染拡大防止に適切な対応を取ることが重要と考えております。

(2) 事業目標

【受託事業】

① 容器包装プラスチック選別業務

容器包装プラスチック選別業務では 3 月にクリーンセンターの選別処理設備が新しくなり、4 月からは葉山町の容プラごみを受け入れています。このように機械の更新及び処理量の変化がありますので当社の職員が環境に順応して力を発揮できるように安全対策と業務の実効性を高めてまいります。

② 福祉バス

今期、マイクロバス 3 台の所有を当社から逗子市に移しナンバープレートも緑から白に変えました。2 月末より新型コロナの影響で高齢者センターが休館になり、同じく福祉バスも休止しております。当社は福祉バス運行再開となれば即時に対応出来るよう体制を維持してまいります。

③ その他

駐輪駐車場管理運営、街区公園・ハイキングコース管理、登下校児童交通整理、学校開放等の業務に関しても引き続き堅実に業務を遂行してまいります。

【指定管理事業】

指定管理業務（市民交流センター）はⅡ期目の初年度にあたり職員は張り切っておりますが休館状態です。開館された暁には市民の皆様のご期待に沿えるように活動いたします。

【自主事業】

- ・人材派遣はお客様に安定的にスタッフを供給出来るように致します。
- ・ガーデンケアは特に熱中症及びケガに注意を払い事故のない作業を目指します。
- ・民間施設管理は引き続き顧客満足を高めるきめの細かい業務を遂行します。
- ・空き家管理サポートは実績を積んでいきます。当該サポートは逗子市の空き家問題対策と歩調を合わせ業務を進めます。

(3) 第30期事業予算

・予算内訳は3部構成になっております。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

II：新事業開発に関する予算

III：市民貢献事業に関する予算

Iの事業予算に就きましては新型コロナの影響が測定出来ず策定不能であります。独自の想定を行い損益を算定いたしました。

予算概要

第30期の予想全社売上高は1億8,931万円（29期実績比1,811万円の減少）を想定。

売上総利益（粗利益）は803万円（29期比1,158万円減少）。

販売費及び一般管理費は1,894万円、営業利益は△1,090万円を想定。

営業外収益には「高齢者雇用開発助成金」100万円、安全衛生引当金戻入50万円、雑収入（自販機収入）50万円を見込みます。

営業外費用は安全衛生費用50万円、雑損失（福祉バス売却損）37万円。

経常利益は△978万円（29期比1,153万円減少）を想定します。

特別損益は新事業開発準備金100万円及び市民貢献事業730万円の費用及び同額の取崩益を損益に計上しています。

税引前当期利益は△978万円。

当期純利益は△998万円（29期比1,153万円減少）を見込んでいます。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

【受託事業】

新型コロナの影響を踏まえ受託事業売上高を9,811万円といたしました。29期の実績より314万円減少です。

主な増減の内訳：容プラ477万円増加（葉山町の受入れ増加を反映）、駐輪駐車場172万円増加（最低賃金反映）、福祉バス869万円減少（コロナ影響で減収）、学校開放155万円減少（コロナ影響で減収）です。秋以降は新型コロナ感染拡大の第2波襲来の可能性も排除できない状況です。

【指定管理事業】

市民交流センターの第30期売上高は29期比1,123万円の減収を見ており4,512万円を見込みます。新型コロナの影響によりプール利用料収入が大幅に減少すると考えています。同じく会議室利用も減速すると考えます。

【自主事業】

自主事業全体の売上は4,607万円を見込んでいます。

ガーデンケア業務の売上はコロナの影響も加味して29期実績より1割下げた2,300万円としました。

ホーム&ビジネスサポートは29期実績とほぼ同額の1,325万円としました。

【政府の雇用調整助成金について】

売上の無い業務休止期間に於いて、雇用維持の為に職員へ支給した休業手当については国の雇用調整助成金制度を利用して助成を受けるべく申請を行います。

但し、いつまでの期間またどのような条件でこの助成制度が継続されるのか不明であり、助成されない場合は当社の費用負担が増加するリスクがあります。

尚、予想損益計算書には当該助成金から継続的に助成される前提で還付される予定の金額を損益に反映させています。

21 ページの「第 30 期 予算損益計算書」を参照ください。

Ⅱ：新事業開発に関する予算

予算総額を 100 万円といたします。内訳は下記の通りです。

下記投資額は将来の回収を目指します。

新規事業名	概算金額（千円）	経費内訳
ホーム＆ビジネスサポート事業	1,000	広告宣伝費、その他。
合計	1,000	-

Ⅲ：市民貢献事業に関する予算

(1) 第 30 期予算

事業名	概算金額（千円）	備考
人工知能ロボット・ペッパー君	1,300	逗子清寿苑・グリーンハウス逗子計 2 台。今期中に終了。
逗子市空き家バンク登録及び活用支援助成	4,000	2020 年 4 月開始
ごみステーション用ネットボックス購入補助	2,000	2020 年 4 月開始
合計	7,300	

以上

第 30 期 予想損益計算書
(期間：令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日)

(税抜き 単位：千円)

	項目	第 30 期予想	第 29 期実績 (参考)	差異
		①	②	①－②
予算 I	(売 上)			
	(受託事業収入)	98,118	101,258	(3,140)
	(指定管理収入)	45,128	56,366	(11,238)
	(自主事業収入)	46,070	49,806	(3,736)
	売上高合計	189,316	207,431	(18,115)
	売上原価	181,281	187,809	(6,528)
	売上総利益	8,035	19,622	(11,587)
	販売費及び一般管理費	18,940	19,343	(403)
	営業利益	(10,905)	278	(11,183)
	(営業外収益)			
	受取利息	2	2	－
	高齢者雇用開発助成金	1,000	1,900	(900)
	安全衛生引当金戻入	500	354	146
	雑収入	500	518	(18)
	合計	2,002	2,774	(772)
	(営業外費用)			
	安全衛生費用	500	354	146
	雑損失	378	945	(567)
	合計	878	1,299	(421)
	経常利益	(9,781)	1,753	(11,534)
予算 II・III	(特別利益)			
	新事業開発準備金取崩益	1,000	107	893
	市民貢献準備金取崩益	7,300	1,838	5,462
	合計	8,300	1,945	6,355
	(特別損失)			
	新事業開発費償却	1,000	107	893
	市民貢献準備金償却	7,300	1,838	5,462
	合計	8,300	1,945	6,355
	税引前当期利益	(9,781)	1,753	(11,534)
	法人税等	200	200	0
	当期純利益	(9,981)	1,553	(11,534)

()内の金額はマイナスです。